



<創立152周年>学校だより

勿来二小

令和7年10月24日(金)

第26号

いわき市立勿来第二小学校長



木のふしぎ発見!森林学習



4年生の総合的な学習では、今年度の学習テーマとして、「木のふしぎ発見」(18時間)に取り組んでいます。外部講師として、山矩建築代表の西山直一先生を迎え、木の種類や木がどんなものに使われているか、木と人の歴史も学習した上で、今年は竹馬のお家づくりを行ってきました。ペンキなども塗り、外観はでき上がりました。最後の組み立てをすれば完成です。



みんなが竹馬のお家づくりで使った木材は、どうやってできているのかを、実際に見てみようということで、9月29日(月)に、荒川材木店さんのご協力により、いわき木材加工センターにおいて、切り出された丸太がどのようにして加工材に変わっていくのか、施設を細かく案内していただきました。

丸太の皮が剥がされ、利用する形にカットされた後、乾燥庫に入れて水分を抜き、修正を加えて商品となるまでを説明していただきました。

荒川材木店さんからは、木工用にとということで各自が選んだ木っ端をいただいて帰って来ました。



この森林学習は、「森林環境税」による「福島県森林環境交付金」を活用し、実現したプログラムです。貴重な経験に4年生は大満足でした。

この学習を進めるにあたり、学級担任が計画をし、西山直一先生には大変お世話になりました。子ども達にいわき市という地元のすばらしさ、自然の豊かさ、仕事に対する熱い思いや職業への憧れ等も伝えられたらという想いを込めて取り組んできました。



キャリア教育の観点からも、今回の森林学習は、とても有意義であったと思います。講師の西山先生からは、学習を通して、子どもたちの心に残る、物事の見方や考え方に関してもお話しいただきました。毎年できるプログラムではありませんが、今後もできるだけ直接体験のすばらしさを大切に、子ども達の心に何かしら残せる学習を行ってきたいと思います。



下に、代表の友だちの感想を紹介します。

4年1組 鈴木 禅一朗 さん

ぼくが森林環境学習で心に残ったことは、二つあります。一つ目は、竹馬スタンドのペンキぬりです。ペンキが少しついてむずかしかったけれど、楽しかったです。

二つ目は、長所しんてん法です。そのもののよい所を見つけるという考え方です。ペンキの色も、長所しんてん法で話し合っ決めてました。学級会や日常生活でもこの考え方を使っていきたいです。

4年1組 小田 暁保 さん

ぼくが荒川材木店へ見学に行ったら心に残っていることは二つあります。一つ目は、1か月でトラック500台分の木を取ってきていることです。たくさん取ってくるんだなとおどろきました。二つ目は、一本の木からたくさんの木材を切り出すことです。コンピュータを使って切っていました。ぼくも、大きくなったら、荒川材木店で働きたいと思いました。